



KKR東海病院

# とうかい

KKR とは？

国家公務員共済組合連合会の  
頭文字をとった略称です。

第72号 2021.4  
編集責任者 丸田真也(副院長)

## 東海病院憲章

東海病院は公共的な保健・医療・福祉サービスを行う施設であり、地域の人々の健康と福祉に資することを目的とする。

## 私たちのKoKoRo(心)構え

3つのS 誠意…Sincerity 奉仕…Service 考動…Science  
東海病院職員は病院憲章の目的を達成するため、誠意・奉仕・考動の3つのSを大切に、地域医療機関との緊密な連携に努め、限りない人間愛と責任をもって、地域の人々に保健・医療・福祉サービスを提供します。

## 新年度にあたり

副院長 丸田 真也 …………… 1

## 新しい内視鏡システムを導入しました

消化器内科部長 北村 雅一 …… 2

## 事務部長就任挨拶

事務部長 弘田 雅美 …………… 3

## 職員のワクチン接種始まりました …… 3

## 新任医師のご紹介

外科医師 出井 秀幸 …………… 4

## 診療と交通のご案内 …………… 4

# 新年度にあたり



東海病院  
副院長 丸田 真也

病院の敷地内の桜は平年より早く3月末には満開となり、4月から10名の新入職員を迎え新たなスタートを切りました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症のために特別な一年となりました。4月に最初の緊急事態宣言が全国に発令されました。当院でも学会等からの提言により人間ドックを一時休止したり、鼠径ヘルニアなどの緊急性のない手術を延期、一時休止しました。当院は呼吸器内科の常勤医がならず、老朽化した病棟設備も不十分のため新型コロナ患者の受け入れはしていません。発熱患者の診療は、当初区の保健センターを通して指定された医療機関で行われていましたが、11月からはかかりつけ医が初期対応を行うことになり、当院でも診療棟の東側に鼻咽喉からの検体採取を行う場所を設けて、午後から時間を指定して発熱外来を行っています。PCR検査は八事日赤や外注業者に委託していましたが、本年3月からは院内で行うことができるようになりました。昨年度初めは過度の受診控えのため外来患者、入院患者ともかなり減少しました。下半期の患者数はやや持ち直したもののコロナ前の状況には回復していません。今年になり新型コロナの治療が終了した患者の受け入れ先が問題になり、今後需要が増えることが予想されます。当院でも受け入れを開始しており、医療崩壊を防ぐべく地域医療に貢献していきたいと考えています。医療従事者のワクチン接種が2月から始まりました。当院は4月初め現在まだ供給されておきませんが、近日中に接種できるものと思います。ワクチン接種が進み新型コロナ感染症が収束に向かうことを期待しています。

その他の話題をひとつ。当院は院内処方を行っていましたが、本年1月に正面玄関に向かって左側に敷地内薬局とコンビニエンスストアを誘致し、院外処方に切り替えました。患者サービスを低下させることなく医薬分業を行い、病院薬剤師は病棟での服薬指導や注射薬の調剤に専念できるようになりました。同時に病院の敷地の東南にあった古いテニスコート駐車場に改修し、不足しがちだった駐車スペースを確保できるようになりました。

本年度も皆さまからの温かいご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

国家公務員共済組合連合会

## 東海病院

〒464-8512 名古屋市千種区千代田橋一丁目1番1号

☎ 052-711-6131 (代表)

☎ 052-712-0052

🌐 <https://www.toukaihosp.jp/>

東海病院

検索



# 新しい内視鏡システムを導入しました

消化器内科部長 北村 雅一

当院を利用される患者様やご家族様、また病診連携・病病連携をご利用される先生方やコメディカルの方々におかれましては、日頃より東海病院内視鏡センターをお引き立て頂き、誠にありがとうございます。

内視鏡センターは2007年8月に開設し、14年目を迎えております。おかげさまで開設以後検査件数は年々増加し、2015年以後は年間8,000件を超えておりました。しかし、2020年はコロナウイルスの影響により、患者の受診控え、当方からの検査控えの影響により、それまでの検査数を大きく下回りました。2020年の内視鏡件数は、胃カメラ5,172件、大腸カメラ1,709件など合計7,049件でした。2019年の検査総数は8,188件でしたので、1,139件の減少となりましたが、現在は可能な限りの感染対策を施した上で通常通りの検査を行っていますので、どうぞご利用ください。

消化器内視鏡分野は、この医療業界の中でも著しく進歩を遂げている分野の一つであり、私たちスタッフも新しい知見や技術の習得のため、勉強に事欠きません。新しい技術を導入するためには新しいハードウェアが必要になり、バージョンアップしていく必要があります。

この度、当院ではオリンパス社のEVIS X1 内視鏡システムを導入しました。何が変わったかというところ、分かりやすいところでは画像がハイビジョンから「4K」になりました。4K画像を抽出するためにモニターも31.5型とさらに大きくなりました。当院はモニターを天吊りアームで固定しておりますが、この大きなモニターの重量に耐えられるようにアームも取り替えになりました。検査してみると、大画面で非常にシャープな画像が術者の操作とタイムロス無しに動き、非常に見やすいです。あまりに大きな画面で隅々まで綺麗に映りますので、慣れないうちは非常に目が疲れました。この大画面は、内視鏡下処置や手術などでは特に力を発揮し、細かい部分の観察・処置がしやすくなりました。この画像を作り出すためのテクノロジーがふんだんに導入されたシステムであり、明るさの補正や色調強調、ピントの調節などが自動で行われており、私たちが何もしなくても今までよりも見やすい画像となっております。また、メンテナンスのしやすさや装置の簡略化が随所に見られ、内視鏡交換などの手間もかなり軽減されております。



私が内視鏡を始めた頃は、モニターはブラウン管でした。綺麗な写真を撮影するために距離や角度、光の強さを変えたり、色素を巻いて大切な所見を見やすいように描出して一生懸命写真に残しておりましたが、今はこんな努力を必要とせずとも綺麗な写真が撮影できる時代になりました（もちろん検査中に異常所見を見つけていなければ、その写真を撮影することは困難ですが）。

当院では未実装ですが、大腸検査中に異常所見を検査中にリアルタイムにAIが検出支援してくれる（病変があった場合に音と画像で教えてくれる）ソフトウェアも発売されており、このシステムに追加出来ます。検査医の見落としを防ぐこのシステムがバージョンアップしていくと私たちの熟練した判断技術がAIに負ける日もさほど遠くない未来のことと思われれます。



# 事務部長就任挨拶

事務部長 弘田 雅美



平素より、当院の運営にあたり格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。  
このたび、令和3年4月1日付けで東海病院の事務部長を拝命いたしました  
弘田 雅美（ひろた まさみ）と申します。よろしくお願いたします。

3月までは国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院に勤務しておりまして、神奈川県横浜市より  
赴任して参りました。この度、名古屋市において、長年、地域に根差した医療を行っている東海病院  
の事務部長という大役をおおせつかり、微力ではございますが、日々努力していく所存であります。

さて、昨年より発生した新型コロナウイルス感染症により日常生活が大きく変わりました。病院と  
しても正面玄関における検温の実施や面会禁止など様々な感染症対策を行っております。この状況は  
今後も続くと思われませんが、あわせて病院を取り巻く環境は、非常に厳しいものがあります。

医師の働き方改革においては、2024年4月までの対応が求められ、タスクシェア、タスクシフト、  
勤務体制の見直し等が必要となります。

また、2025年に向けた「地域医療構想」においては、超高齢化社会へ向かう中で、地域の医療機関  
との連携や地域における役割分担を見据えた上で、病院として提供する医療機能を決定する必要があ  
ります。

当院は、これらの厳しい医療環境に対応しながら、「病院」、「健康管理センター」、「介護老人保健  
施設ちよだ」という施設をフル稼働させて、必要な保健・医療・福祉サービスを提供することにより、  
地域医療に貢献していく必要があると考えております。

当院が地域の医療機関等との連携を深め、地域の皆様から信頼され選ばれる病院となるため、職員  
の心構えである3つのS（誠意：Sincerity、奉仕：Service、考動：Science）を大切にして、日々精進  
して参りたいと思います。

これから、皆様方の格別のご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 職員のワクチン接種始まりました

新型コロナウイルスのワクチン接種が4月19日（月）より開始することが  
出来ました。1回目接種の途中ですが、即効型の副作用や発熱者の報告もな  
く、翌日に接種部位の痛みがある程度でした。



初日に早川名誉院長接種



# 新任医師のご紹介

外科医師 出井 秀幸



令和3年4月より外科に赴任いたしました、出井秀幸（でい ひでゆき）と申します。

平成25年に卒業後、豊橋市民病院で初期研修、後期研修を行い、愛知県がんセンター消化器外科を経て、当院に異動となりました。

千種区内の異動となり、慣れ親しんだ地で引き続き働くことができ、大変うれしく思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 診療と交通のご案内

### 診療科目

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、外科、消化器外科、血管外科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、眼科、脳神経外科、皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科

### 受付時間

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30～11:30	○	○	○	○	○	☆	/

休診日：日曜日・祝祭日・第2、4土曜日・年末年始

☆第1,3,5土曜日の午前中は診療を受けております。

※整形外科は8:30～11:00までの受付です。

※眼科は月～金曜日の受付、木曜日は10:30までの受付となります。

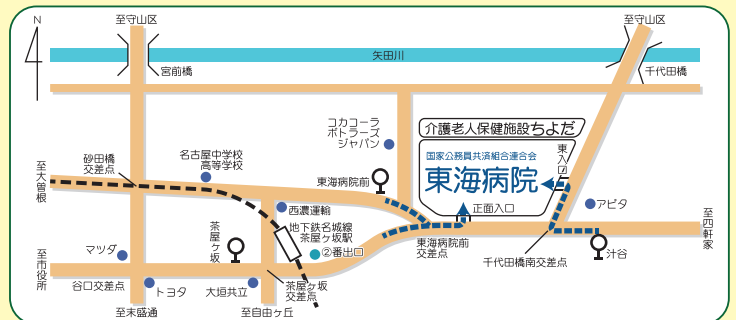
※皮膚科は木曜日の午後（13:00～14:00）のみの受付です。

※脳神経外科は、火曜日・木曜日のみの受付です。

※血管外科は、金曜日のみの受付です。（金曜日8:30～11:00 下肢静脈瘤）

※ご予約をとられている方の変更・キャンセルは各科外来窓口までお願いします。

（月曜日～金曜日14:00～16:00）



### 名古屋駅方面から

出来町通りを瀬戸方面へ直進→東海病院前の交差点（三叉路）を通過しすく左折→東海病院正面入口からお入りください。

### 瀬戸・引山方面から

瀬戸線（国道363号線、通称・基幹バスレーン・出来町通）を名古屋方面へ→千代田橋南交差点を右折→北進50Mの東入口からお入りください。

### アクセス

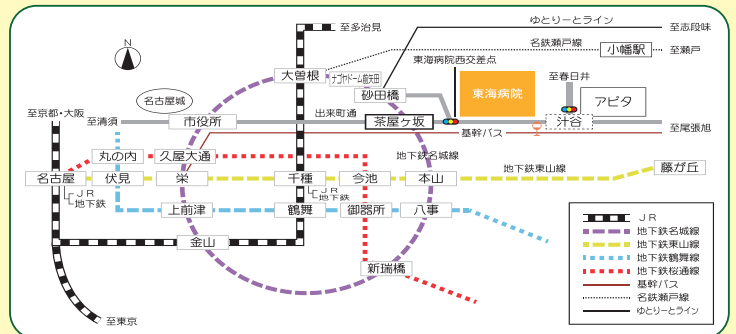
#### ■地下鉄でお越しの場合

名城線「茶屋ヶ坂」駅②番出口より東へ300m（徒歩約7分）

#### ■市バス・名鉄バスでお越しの場合

栄から <名鉄・基幹バス> オアシス21 ③番のりば（引山行）「汁谷」下車 徒歩約1分  
名古屋駅から <市バス> 名古屋駅バスターミナル ⑦番のりば（茶屋ヶ坂行）「茶屋ヶ坂」下車 徒歩約9分  
<名鉄・基幹バス> 名鉄バスセンター ④番のりば（三軒家行）「汁谷」下車 徒歩約1分

#### ■駐車場 100台



### 無料送迎バス

#### ■運行日

月～金（土曜・日曜・祝祭日・12月29日～1月3日を除く）

#### ■乗降場所

地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅循環送迎バス：

病院発 → 地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅ロータリー → 地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅ロータリー → 病院

名鉄瀬戸線小幡駅循環送迎バス：

病院発 → 名鉄瀬戸線小幡駅ロータリー付近 → 地下鉄名城線茶屋ヶ坂駅ロータリー → 病院